

# 取扱説明書





### 安全上のご注意

- ◆ ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる人やほかの人々への危害や損害を まなに防止するためのたのです。いずわた安全に開する重要な内容ですので、必ず安ってください。
- 未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。◆ お読みになったあとは、お使いになる人がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆ このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

### 危害・損害の程度を表わす表示



# ★ご注意

本機種ではジグザグぬい(模様 07)の「ぬい目の幅」は、初期値 5.0 としております。

これは付属のたち目かがり専用「C 押さえ」で、たち目かがりをす る場合に、ジグザグぬいを選択しても、針が「C 押さえ」の針金に 当たるのを防ぐ目的があります。

ジグザグぬい(模様 07)で、「A 押さえ」を使用する場合、試し ぬいをして、ぬい縮みが出ないよう、「ぬい目の幅」や「ぬい目の あらさ」を調節して、使用してください。

・うす地の場合で、ぬい目の幅(3.0)、ぬい目のあらさ(2.0)が 目安です。

※ 詳しくは、取扱説明書の28、29ページをごらんください。

# 目 次

◎お取り扱いについてのお願い	3	● 針
◎各部のなまえ	4	● 針 ● <i>☆</i>
◎補助テーブル	5	( <u>[</u>
◎標準付属品と収納場所	6	● 直
◎基本操作	7	・ ・ ・ ン
<ul> <li>● 電源のつなぎ方</li> </ul>	7	●た
★ スタート/ストップボタンを使用する		
場合 ★ フットコントローラーを使用する場合	7 `7	市 ● ボ
● スタート/ストップボタン	8	*
● 速さの調節	8	*
★ スピードコントロールつまみ	8	*
★ ノットコノトローラー	0	*
<ul> <li>         ・</li></ul>	9	*
<ul> <li>押さえの取りかえ方</li> </ul>	. 12	
● 押さえホルダーの外し方・付け方	. 13	● 芯
<ul> <li>押さえ上げ</li></ul>	. 13	
<ul> <li>● 糸調子の合わせ方</li> <li>▲ 白動 ション</li> </ul>	.14 14	
<ul> <li>▲ 自動水調 」</li></ul>	. 14	◎ඛ
<ul> <li>         ・</li></ul>	. 15	
<ul> <li>布に適した糸や針を選ぶ目安</li> </ul>	. 15	・バ
● 下糸の準備	. 16	・シ
★ ボビンの取り出し	. 16	• 7
★ 糸こまのセット	. 16	・ア
★ 下永登さ	. 17 18	
<ul> <li>▲ 上糸の進備</li> </ul>	10	$\odot$
<ul> <li>◆ 土木のキ協</li> <li>★ 上糸のかけ方</li> </ul>	. 19	
★ 糸通しの使い方	. 20	
★ 下糸を引きあげる	.21	ات©
● 表示画面の説明	. 22	
● 模様の選びかた	. 22	
● 模様一覧	. 22	
◎実用ぬい	. 23	
● 直線ぬい (中針位置)	. 23	● 埠
★ ぬい始め	. 23	
▼ 厚于の巾喃のぬい始め	.23 21	
<ul> <li>▲ ぬい終わり</li> </ul>	. 24	

● 針板ガイドライン	25
● 針位置をかえるとき(直線状模様)	26
<ul> <li>ぬい目のあらさをかえるとき</li> </ul>	
(直線状模様)	26
<ul> <li>● 直線状のぬい目</li> </ul>	27
<ul> <li>● ジクザクぬい</li> </ul>	28
★ ぬい目の幅・あらさをかえるとき	28
● たち目かがり	29
● トリコットぬいのたち目かがり	30
<ul> <li>ボタンホール</li> </ul>	31
★ ボタンホールの種類	31
★ スクエアボタンホール	32
★ ホタンホール重ねぬい	34
★ ぬい目の幅 (ホタンホールの幅) を	05
♪えるとさ	35
★ ぬい日ののらさをかえるとさ	35
★ 「「フリノトホタノホール、	0E
	30
● 心人りホタンホールのぬい	36
<ul> <li>ホタン付け</li> <li>マーマナーゲー</li> </ul>	37
<ul> <li>ファスナー付け</li> <li>キョウやい</li> </ul>	38
	40
◎ 応用ぬい	41
● ピンタック	41
● パッチワーク	41
● シェルタック	42
<ul> <li>ファゴティング</li> </ul>	42
● アップリケ	43
● スカラップ	43
◎ ミシンのお手入れ	44
● かまと送り歯、糸切り部の掃除	44
● 内がまと針板の組み付け	44
◎こんなときには	45
<ul> <li>● 画面にこんな表示が出た場合</li> </ul>	45
<ul> <li>ブザー音の種類</li> </ul>	45
◎ミシンの調子が悪いときの直し方	46
	46
<ul> <li>● 面板の外し方・付け方</li> </ul>	0+ ⊿۵
<ul> <li>● 模様の形の整え方</li> </ul>	
	10

# ◎ お取り扱いについてのお願い

### ◇ ご使用の前に



- (1) ぬう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき取ってください。 試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。
- (2) シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。

### ◇ いつまでもご愛用いただくために



### ◇ 修理・調整についてのご案内

万一不調になったり故障を生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(46~ 49ページ)によって点検・調整を行ってください。



※ 製品改良のため、部品の形状や仕様を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。
 ※ ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。



### ◎ 補助テーブル

【補助テーブルの外し方】

補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。

※補助テーブルを取り付けるときは、フリー アームにそわせ、ピンを穴に入れ、取り付け ます。

### 【フリーアームの使い方】

そで口やすそなどのぬい、および、ふくろ物の 口端の始末に利用します。



ミシンの使い方については、以下の QR コードもしくは URL から説明動画をごらんいただけます。



説明動画

https://youtu.be/sqIHQ3EdP\_s

# ○ 基本操作 ● 電源のつなぎ方 ▲ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源100Vで使用してください。
   ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因となります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
   ほこりなどが付着していると、湿気などによって絶縁不良となり火災の原因となります。



### ★ スタート/ストップボタンを使用する場合

- **1** 電源スイッチを「OFF」(切)にします。
- 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- **3.** 電源スイッチを「ON」(入)にします。
- ※ 電源スイッチを入れると、ミシンの準備のた めの初期設定が数秒間行われます。
- ※ 初期設定中は針などが動きますので、ミシン に触れないでください。
- ※ 必ず付属の電源コードを使用してください。

### ★ フットコントローラーを使用する場合

- ※ フットコントローラーは、モデルによりオプ ションになります。
- ※ 必ず付属の電源コードを使用してください。
- **1.** 電源スイッチを「OFF」(切)にします。
- フットコントローラープラグをフットコン トローラープラグ受けに差し込みます。
- 電源コードのプラグをプラグ受けに差し込み、電源プラグをコンセントに差し込みます。
- **4.** 電源スイッチを「ON」(入)にします。
- ※ フットコントローラーを接続したときは、ス タート / ストップボタンは使えません。









### ● スタート/ストップボタン

押さえ上げをさげてボタンを押すと、ゆっくり 動き始めてから、スピードコントロールつまみ でセットした速さになります。もう一度押すと、 通常、針が上の位置で停止します。

- ※ スタートおよびストップのとき、ボタンを押 し続けているあいだ(指をはなすまで)は低 速で動きます。
- ※ スタート/ストップボタンを使用するときは、 フットコントローラーは、外してください。
- ※ スタート/ストップボタンを押したときに、 表示画面の押さえ表示が点滅した場合、押さ え上げをさげてからスタート/ストップボタ ンを押してください。

### 速さの調節

ぬう速さは、スピードコントロールつまみやフッ トコントローラーで調節します。

### ★ スピードコントロールつまみ

スタート/ストップボタン使用時のぬう速さを 調節します。スピードコントロールつまみの位 置が右側になるほど速くなります。

※ 最高速度は、模様のぬい目のあらさおよび模 様の種類によって変化します。

### ★ フットコントローラー

- ※ フットコントローラーは、モデルによりオプ ションになります。
- フットコントローラーは、深くふみ込むほど速 くなります。

フットコントローラーを一杯にふみ込んだとき の最高速度は、スピードコントロールつまみを セットした位置で決まります。

- ※ 通常、スピードコントロールつまみは「はや い」にセットして使用してください。
- ※ フットコントローラーを接続したとき、ス タート/ストップボタンは使用できません。
- ※ 細かいものをぬうときなどは低速側にしておくと、フットコントローラーをいっぱいにふみ込んでもスピードが出ないので使いやすくなります。

⚠ 注意

- •フットコントローラーの上に物を置かないでください。けがや故障の原因となります。
- フットコントローラーを使用する場合、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。 動作不良を起こし、けがや故障の原因となります。





### 【運転中の返しぬい】

そのほかの模様の場合は、ボタンを押すとその位置で止めぬいをして自動的に止まります。

### 【停止中の返しぬい】

(フットコントローラーを接続していないときのみ)

様様 ↓ ↓ ☆ ☆ は、ミシンが動いていない状態で返しぬいボ タンを押すと、押しているあいだは返しぬいをし、指をはなす と止まります。そのほかの模様のときには、ボタンを押すと運 転再開後、その位置で止めぬいをして自動的に止まります。 ※ 模様 ↓ ↓ は、特殊な使い方になります。

て自動的に止まります。

※ 停止してから押した場合、運転再開後、その位置で止めぬ いをして、ミシンは自動的に停止します。

そのほかの模様の場合は、ボタンが押されたときの模様を完成 させたあと、止めぬいをして自動的に止まります。

※ 模様 ) は、ぬう前にボタンを押しておくと、模様を1つだけぬって自動的に止まります。



### 【糸切り記憶】

糸切り記憶をオンにする場合、ミシン停止中またはぬっている途中で糸切りボタンを1秒以上長押 しします。画面の糸切り表示が点灯し、糸切り記憶がオンになります。

糸切り記憶をオンにすると、ぬい終わりにほつれ止めの止めぬいが入っている模様

10 11 12

終わってミシンが停止すると同時に糸切りが行われます。

そのほかの模様も、ぬい終わりに返しぬいボタンや止めぬいボタンで止めぬいを入れてミシンを停止した場合に、ミシンが停止すると同時に糸切りが行われます。

### 【糸切り記憶の取り消し】

糸切り記憶をオフにする場合、糸切りボタンを 1 秒以上長押しします。 画面の糸切り表示が消え、糸切り記憶がオフになります。

### <u>糸切りの注意事項</u>

- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を切る場合は、ミシンの面板に付いている糸切りを使用してください。「面板の糸切りの使い方」(24 ページ参照)
- 糸こまの糸残りが少ないものは使用しないでください。糸がらみの原因になります。
- 糸切り部の掃除をときどき行ってください。糸切り部に糸くずがたまると故障の原因になります。(「◎ミシンのお手入れ」44ページ参照)
- 糸が切れず糸がからんでしまった場合は、針板を外し、からんでいる糸を取り除いてください。 (「◎ミシンのお手入れ」44ページ参照)







# ● 送り歯のさげ方

ボタン付けなどのときは、ドロップつまみを「送 り歯をさげる位置」にセットして、送り歯をさ げます。

※ 終わったら、「送り歯をあげる位置」にもどし、 手ではずみ車を手前にまわして送り歯があが ることを確認してください。

● 押さえの取りかえ方



# 【1】押さえの外し方

はずみ車を手で手前にまわして針を上げ、押さ え上げをあげます。押さえホルダーのレバーを うしろ側から手前に押して、押さえを外します。

- ※ 押さえ上げのあげ方は、13 ページ「●押さ え上げ」をごらんください。
- ※ レバーを上から押さないでください。故障の 原因となります。

# 【2】押さえの付け方

押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下に おいて、押さえ上げをゆっくりさげます。





# ● 押さえホルダーの外し方・付け方

# ▲ 注意

押さえホルダーの取り外し・取り付けを行う 場合は、必ず電源スイッチを切ってください。 けがの原因となります。

押さえホルダーは、ミシンのお手入れのときな どに外します。

### 【1】押さえホルダーの外し方

はずみ車を手で手前にまわして針を上げ、押さ え上げをあげます。ドライバーで押さえホルダー 止めねじを左にまわして外し、押さえホルダー を外します。

### 【2】押さえホルダーの付け方

- ※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取 り付けてください。押さえが付いていないと 正常な取り付けができません。
- 1. 押さえ上げをあげます。
- 押さえ棒に押さえホルダーを取り付け、押 さえホルダー止めねじを軽くしめ、押さえ ホルダーを仮止めしておきます。
- 押さえ上げをさげ、押さえホルダー止めね じを一度少しゆるめてから、押さえが針板 に押し付けられた状態で押さえホルダー止 めねじをドライバーでしっかりとしめます。

# ● 押さえ上げ

押さえ上げで、押さえのあげさげを行います。 押さえ上げを普通にあげた位置よりさらに高く あげることもでき、厚い布を入れるときなどに 利用できます。

- (1) さげた位置: 糸通し使用時やぬうときなど
- (2) 普通にあげた位置: 布のセットや取り出し、上糸かけ、押さえ の交換のときなど
- (3) さらにあげた位置(固定はできません。): 厚い布を入れるときなど
- ※ 押さえ上げをさげないでミシンをスタートさせようとすると安全装置がはたらいてミシンがスタートできないようになっています。このとき画面の押さえ表示が点滅します。押さえ上げをさげてスタートさせてください。



# ● 糸調子の合わせ方

### ★ 自動糸調子

通常は、糸調子ダイヤルの「オート」を指示線 に合わせると、上糸と下糸がバランスよくぬえ るように自動的にセットされます。

### 【バランスのとれた糸調子】

直線ぬいの場合、糸調子のバランスがとれてい ると、上糸と下糸が布のほぼ中央で交わります。 ジグザグぬいの場合、布の裏側に上糸が少し出 るくらいになります。

糸調子ダイヤルをまわすと、糸調子は下記のよ うに変化します。

- 数字を小さくすると上糸の調子が弱くなる
- 数字を大きくすると上糸の調子が強くなる

糸や布の種類などによって、「オート」の位置で 糸調子のバランスがとれない場合、下記「★マ ニュアル糸調子」の方法で調節します。

※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目 がきたなくなったり、布にしわがよったり、 糸が切れたりします。

# ★ マニュアル糸調子

糸や布の種類によって糸調子のバランスがとれ ないときは、糸調子ダイヤルをまわして調節し ます。

### 【上糸が強すぎる場合の調節】

上糸が強すぎると、下糸が布の表に引き出され ます。

糸調子ダイヤルをまわして、小さな数字を指示 線に合わせます。

# 【上糸が弱すぎる場合の調節】

上糸が弱すぎると、上糸が布の裏に引き出され ます。

糸調子ダイヤルをまわして、大きな数字を指示 線に合わせます。



# <u>布地の裏がタオル地のようになる場合</u>

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のように なるのは、上糸の糸調子が弱いか、上糸のかけ方がまちがってい ます。上記で上糸を調節するか、上糸を正しくかけ直してください。 (「●上糸の準備 / ★上糸のかけ方」19ページ参照)



# ● 針の取りかえ方

# ▲ 注意

針を交換するときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因となります。

はずみ車を手で手前にまわして針をあげ、押さ え上げをさげます。

# 【1】針の外し方

針止めねじを手前に 1 ~ 2 回まわしてゆるめ、 針を外します。

# 【2】針の付け方

交換する針の平らな面を向こう側に向け、針を ピンに当たるところまで差し込みます。針止め ねじをドライバーでまわし、針をしっかり止め ます。

※ 針が正しく付けられていないと、糸通しがで きないだけでなく、針がゆるんで針折れして 危険です。

### 【3】針の調べ方

針の平らな面を平らな物(針板など)に置いた とき、すきまが針先まで均等に見えるのがよい 針です。針先が曲がったり、つぶれたりしてい るものは使わないでください。

# ● 布に適した糸や針を選ぶ目安

※ 針は必ず、家庭用ミシン針(HA × 1)を使用してください。

布の	0種類	糸	針
うすい布	ローン ジョーゼット トリコット	ポリエステル 90 番	9番~ 11番 または ジャノメブルー針(オプション)
普通の布	シーチング ジャージー	綿糸 60 番 ポリエステル、ナイロン 50 番〜 90 番	11 番〜 14 番 ジャノメブルー針(オプション)
	ウール地	綿糸 50 番	14 番
デニム 厚い布 ツイード コート地	綿糸 40 番~ 50 番 ポリエステル 40 番~ 50 番	14 番~ 16 番	
	リート地	ポリエステル 30 番 綿糸 30 番	16 番

※ 一般的に、うすい布には細い糸と細い針を、厚い布には太い糸と太い針を使用します。この表を目安 に糸と針を選び、試しぬいをして確かめてください。

- ※ 通常、上糸と下糸は同じものを使用してください。
- ※ 伸縮性のある布地(ジャージー、トリコットなど)や目とびしやすい布地には、ジャノメブルー針(11 番)(オプション)を使用すると、目とびの防止効果があります。





★ 下糸巻き

- ※ 糸巻き時は、スピードコントロールつまみを 「はやい」にセットしてください。
- ※ ナイロン透明糸およびメタリック糸は、下糸 に使用しないでください。
- 1. 糸こま側の糸を押さえ、うしろ側から手前 にまわし、矢印方向に引いて、糸巻き糸案 内にかけます。
- ※ 糸を確実に皿の下に入れてください。 糸が皿の下に入っていないと、均等に糸を巻 くことができません。
- ボビンの穴に内側から糸を通します。
   糸巻き軸の凸部分とボビンのみぞが合うように、糸巻き軸にボビンを差し込みます。
- ボビンをボビン押さえの方に押し付けます。
   表示画面に糸巻き位置にセットされたことを示す糸巻き表示が点灯します。
- ※ ボビン押さえのねじはさわらないでください。部品が外れることがあります。

- 糸の端をつまんだままミシンをスタートさせ、ボビンに糸を約3秒間巻き付けたらミシンを止めます。つまんでいる糸をボビンのきわで切ります。
- 再びミシンをスタートさせ、下糸を巻きます。
   下糸が巻き終わると、ボビンの回転が止まります。ボビンの回転が止まったらミシンを止めます。
- ※ 糸巻きは、安全のためにミシンをスタートさ せてから約2分間で自動停止します。
- 6. ボビンを左側にもどし、糸巻き軸からボビンを外して糸を切ります。
- ※ ボビン(糸巻き軸)は、必ずミシンを止めて からもどしてください。



★ ボビンのセット

# ⚠ 注意

ボビンを内がまにセットするときは、必ず電 源スイッチを切ってください。 けがの原因となります。

- 糸の端がボビンのうしろ側から矢印方向に 出るように向け(糸が左巻き)、ボビンを内 がまに入れます。
- ※ ボビンから引き出される糸の状態の図が、角板に表示されています。
- ボビンが回転しないよう、ボビンを右手で 軽く押さえます。
   糸の端を左手で持ち、内がまの手前のみぞ (A) にかけます。
- ※ 各部に糸を確実にかけるため、下記の手順 **4.** が終了するまで、右手でボビンを押さえた状態で行ってください。
- 3. 糸の端を引き、金属部とばねのあいだを通 しながら左側のみぞ(B)のところに出します。
- ※ 手順 2. で、内がまの手前のみぞ(A) に糸 がかかっていない場合、ばねと金属部のあい だに糸が入りません。その場合は、手順 2. か らかけ直します。
- ※ 糸が正しくかけられていないと、ぬい不良の 原因となります。
- 4. 糸を左側のみぞ(B) にかけるように向こう 側に出します。
- ※ 糸を引き出したとき、ボビンは反時計回りに 回転します。 時計回りに回転した場合、ボビンの向きを上 下逆に入れかえます。
- 5. 下糸を約 10 cm 引き出します。 角板を左側から合わせて取り付けます。



# ● 上糸の準備

\*\* はじめに、下記の【**準備**】を必ず行ってくだ さい。ぬい不良の原因となります。



- 2. 電源スイッチを「ON」(入)にします。 上下停針ボタンを押して針と天びんをあ げます。
- 3. 電源スイッチを「OFF」(切)にします。

★ 上糸のかけ方

# <u> 注</u>意

上糸をかけるときは、必ず電源スイッチを 切ってください。けがの原因となります。

- ※ 上糸かけは、必ず押さえ上げをあげて行って ください。押さえ上げがあがっていないと糸 が正しくかけられず、ぬい不良の原因となり ます。
- ※ 上糸かけは、各部に糸を確実にかけるため、 常に右手で糸こま側の糸を軽く押さえなが ら、左手で強めに引いて行ってください。
- ※ 糸こまのセット方法は、16ページ「★糸こ まのセット」をごらんください。
- ※ 糸こま外れ防止のため、必ず、糸こま押さえ を使用してください。
- 糸こまから糸を引き出し、右手で糸こま側の糸を軽く押さえながら糸案内体の下に巻き付けるようにかけ、みぞにそって手前に糸を引き出します。
- 2. 糸案内板の下をまわし、左上に引きあげます。
- 天びんの右からうしろへまわして手前に出し、まっすぐ下におろします。
- ※ 糸がばねを通過し、天びんの糸穴まで入って いることを確認してください。
- **4.** 糸を右からアーム糸案内にかけ、左から針 棒糸かけにかけます。
- ※ 糸通しを使って針に糸を通します。糸通しの 使い方は、20ページをごらんください。



★ 糸通しの使い方

# <u> 注</u>意

糸通しを使うときは、必ず電源スイッチを 切ってください。けがの原因となります。

- ※ 針は家庭用ミシン針(HA × 1)の 11 番~ 16 番、糸は 50 番~ 90 番が使用できます。
- 上糸かけのときに上下停針ボタンで針をあ げた状態のまま、押さえ上げをさげます。
   糸通しレバーを止まるまでさげます。
- ※ 糸通しレバーが止まった位置で、針穴にフッ クが入っています。
- **2.** 糸をガイド(A)の左側からフックの下にま わします。
- ※ 糸はフックの下を通ります。
- 糸をガイド(B)の右から手前にまわして、 そのままガイド(B)の側面にそって上に引 きあげ、糸保持板にはさみ込みます。

**4.** 糸通しレバーを静かにもどすと、糸の輪が 引きあげられます。

5. 糸の輪をフックから外し、糸の輪を向こう 側に引いて、針穴から糸の端を引き出します。



- ★ 下糸を引きあげる
- 1. 押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえて おきます。

 電源スイッチを入れ、上下停針ボタンを 2回押し、針をあげます。
 上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出され ます。

3. 上糸と下糸を押さえの下にして、約 10 cm うしろにそろえて引き出します。







### ● 表示画面の説明

表示画面には、以下の表示がされています。

- 模様の代表的なぬいに使用する、押さえの記号
- 選んでいる模様の番号
- 模様に適した、ぬい目の幅の値
- 模様に適した、ぬい目のあらさの値

模様番号、ぬい目の幅、ぬい目のあらさが数値 設定ボタンで変更できます。(11ページ参照)

# ● 模様の選びかた

▲ ▼ ボタンを押して、ぬいたい模様の番号 を選びます。

- 1. < ト ボタンで模様モードを選びます。
- カーソルが2つあるときに、▲ ▼ ボタンを押すと、一の位と十の位の数値が変更できます。
- **3.** <br/>
  ・ ボタンの <br/>
  ・ ボタンを押して、

カーソルを 1 つにして、 ▲ ▼ ボタンを 押すと、十の位の数値が変更できます。

※ ぬい目の幅(直線模様の場合は針位置)、ぬい目のあらさの変更は 26、28、29 ページを ごらんください。

# ● 模様一覧

模様の下にあるアルファベットは、模様をぬう ときに使用する標準的な押さえの記号を表して います。







◎ 実用ぬい

● 直線ぬい(中針位置)

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 00
  - (2) 糸調子ダイヤル: オート
  - (3) 押さえ:基本押さえ A

### ★ ぬい始め

上糸と下糸を押さえの下から向こう側に引き出 した状態で布を入れ、糸と布を左手で押さえま す。はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位 置に針をさします。

押さえ上げをさげて、ぬい始めます。

※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいボタンを押

します。また、自動返しぬい模様 🖕 や自動

止めぬい模様 📋 を使う方法もあります。 (27 ページ参照)

### <u>ぬい始めの糸の引き出し方</u>

通常は、ぬい始めの上糸は押さえの向こう側 に引き出して、押さえで押さえます。 ただし、サテン押さえ F やボタンホール押さ え R など押さえの裏側の前後方向(縦方向) がへこんでいて糸を押さえる部分がない場合 は、ぬい始めの糸は横方向に引き出して、押 さえで押さえてください。

### ★ 厚手の布端のぬい始め

基本押さえ A の黒ボタンを押した状態で押さえ をさげると、押さえが水平に固定されます。 段差のある布をぬうときや、布の折り返しをぬ うときに便利です。

- **1.** ぬい始めの位置に針をさし、基本押さえ A の黒ボタンを押し込みます。
- 2. 黒ボタンを押したまま、押さえをさげます。
- ※ 押さえが水平に固定され、段差をスムーズに ぬい始めることができます。
- 3. 黒ボタンから手をはなし、ぬい始めます。
- ※ ぬい始めると黒ボタンがもどり、押さえは自 由に動く状態にもどります。





- ★ ぬい方向の変更
- 1. 布の方向をかえる位置でミシンを止めます。
- 布に針がささっていない場合、上下停針ボ タンを押して針を布にさし、押さえ上げを あげます。
- 針を布にさしたままぬい方向をかえ、押さ えをさげてぬい始めます。
- ※ ぬい位置がずれずに、きれいにぬうことがで きます。

### ★ ぬい終わり

- ぬい終わりの位置で返しぬいボタンを押し、 数針返しぬいをしてミシンを止めます。
- 糸切りボタンを押して糸を切ります。押さ え上げをあげて、布を向こう側に静かに引 き出します。
- ※ 針が布にささった状態でも、糸切りボタンを 押すと針は上の位置に移動します。
- ※ 自動返しぬい模様 🕺 や自動止めぬい模様 🕺

でぬっている場合、ぬい終わりの位置で返し ぬいボタンを一度押すと、返しぬいまたは止 めぬいをして、ミシンは自動的に停止します。 (27ページ参照)

### 面板の糸切りの使い方

- 30 番および 30 番より太い糸や特殊な糸を 切る場合は、ミシンの面板に付いている糸 切りを使用します。
- 針と押さえ上げをあげ、布を向こう側に引き出し、手前に返すようにして糸を切ります。



# ● 針板ガイドライン

針板および角板には、布のぬい位置を決めるための便利なガイドラインが表示されています。 布端をガイドラインに合わせてぬうと、ぬい幅 がそろいます。

- ※ ガイドラインの数字は、ぬい位置(針穴の中 央)からガイドラインまでの距離を「インチ」 と「ミリメートル」で表示しています。
- ※ 針板手前にもそれぞれ 0.65 cm (1/4 イン チ)、0.95 cm (3/8 インチ)、1.6 cm (5/8 インチ)のところにガイドラインがあります。

### 【コーナーリングガイド】

布端から約 1.6 cm (5/8 インチ)のところで直 角にぬい方向をかえるときに利用します。

- 布端がコーナーリングガイドのところにきたらミシンを止め、上下停針ボタンを押して、針を布にさします。
- 押さえ上げをあげ、布を直角に回転させます。
   布端が針板右側のガイドライン約 1.6 cm
   (5/8 インチ)の位置に合います。
- **3.** 押さえ上げをさげ、ミシンをスタートさせます。

### 【角度目盛り】

角度目盛りは、パッチワークのピーシングに使 うと便利です。

パッチワーク布(ピース)の角度と同じ角度目 盛りに布端を合わせると、しるしなしでぬいし ろ 0.65 cm(1/4 インチ)のぬい始めの位置を 決めることができます。

### 例:レモンスター

- 1. ピースの対角線に折り目を付けます。
- ぬい始めは、布端をガイドライン 0.65 cm (1/4 インチ)および角度目盛り「45」度に 合わせて布を置きます。
- 3. ぬい終わりは、対角線までぬいます。





# ↓↓↓↓↓↓は、針位 置をかえることができます。 ▲ ト ボタンを押して、ぬい月の幅モードを 選びます。(11ページ参照) 初期値(購入時のセット状態)は3.5です。 ※模様 | の初期値は 0.5 です。 ※ 0.0~7.0の範囲で 0.5 ずつかえることがで きます。 ※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安をミリメー トルで表示しています。 直線状模様の場合では、左針位置からの距離 の月安をミリメートルで表示しています。 ● 「▼ 」ボタンを押すと表示される数値が小さ くなり、針位置が左に移動します。 「▲」ボタンを押すと表示される数値が大き くなり、針位置が右に移動します。 ● ぬい目のあらさをかえるとき(直線状模様) 🖪 🕨 ボタンを押して、ぬい目のあらさモー ドを選びます。(11ページ参照) 初期値(購入時のセット状態)は、模様 で 2.2、模様 🧵 で 2.5 です。 ▼ ボタンを押すと表示される数値が小さ くなり、ぬい目が細かくなります。 「▲」ボタンを押すと表示される数値が大き くなり、ぬい目があらくなります。 ぬい目のあらさは、以下の範囲でかえられます。 ● 模様 ↓↓ は 0.0 ~ 5.0 の範囲 ● 模様 📋 は 1.0 ~ 5.0 の範囲 ※ 0.0 (模様 🗒 のみ)、1.0、1.5、1.8 とかえる ことができ、1.8から3.0までは0.2ずつ、3.0 から 5.0 まで 0.5 ずつかえることができます。 • 模様 🖁 は 1.0 ~ 2.5 の範囲で 0.5 ずつ ※ 画面の数値はぬい目のあらさの目安をミリ メートルで表示しています。

針位置をかえるとき (直線状模様)

※ 直線状のぬい目、模様

00 01 02 03 04

- ※ ぬい目のあらさは、布や糸によってかわります。
- ※ 返しぬいの場合、ぬい目のあらさは表示の数 値より小さくなります。



### 【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針返しぬいを行います。

### 【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

### 【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーをふむと、その位置か ら自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止します。

運転したままボタンを押した場合も、その位置から自動的に数針返しぬいを行ってミシンが停止 します。



### 【ぬい始め】

ミシンをスタートさせると、ぬい始めに自動的に数針止めぬいを行います。

### 【ぬい終わり】(スタート/ストップボタン使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

### 【ぬい終わり】(フットコントローラー使用時)

ぬい終わりの位置にきたらミシンを停止し(または運転したまま)、返しぬいボタンを一度押します。 ミシンを停止してからボタンを押した場合は、再度フットコントローラーをふむと、その位置で 自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

運転したままボタンを押した場合も、その位置で自動的に数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

※ ぬい終わりに、返しぬいボタンのかわりに止めぬいボタンを押しても、その位置で自動的に 数針止めぬいを行ってミシンが停止します。

ミシンのセット	用途
	伸縮性のある強いぬい目なので、補強ぬいに利用しま
	9。
04	
伸縮ぬい	布が伸びても、糸が切れにくい、伸縮性のあるぬい目
模様 押さえ 糸調子ダイヤル	です。
05 06 4 4 cyo cyo 基本押さえ A オートー 3	また、直線状なのでぬいしろを割ることができ、ニット、トリコットなどのぬい合わせに便利です。 <sup>06</sup> ※ 模様 ↓ は、うす地のニット素材に利用します。







● ジグザグぬい

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 07
- (2) 糸調子ダイヤル: オート (3) 押さえ:
  - 基本押さえ A

ッッジグザグぬい(模様 ≹)で「基本押さえ A」を

使用する場合は、試しぬいをして、ぬい縮みが 出ないよう、ぬい目の幅やぬい目のあらさを調 節してください。(うす地の場合で、ぬい目の幅 3.0、ぬい目のあらさ 2.0 が目安です。)

ジグザグぬいは、たち目かがりや、ボタン付け などいろいろなぬい方ができます。

※ 伸縮性のある布(ニット、ジャージー、トリ コットなど)には芯地を貼るときれいにぬえ ます。

### ★ ぬい目の幅・あらさをかえるとき

### 【ぬい目の幅をかえるとき】

【 ▲ 】 ( ▶ ) ボタンを押して、ぬい目の幅モードを 選びます。(11ページ参照)

初期値(購入時のセット状態)は5.0です。

- ※ 0.0~7.0の範囲で 0.5 ずつかえることがで きます。
- ※ 画面の数値は、ぬい目の幅の目安です。 (単位:ミリメートル)
- 「▲」ボタンを押すと、表示される数値が大 きくなり、幅が広くなります。
- ▼ ボタンを押すと、表示される数値が小 さくなり、幅がせまくなります。



【ぬい目のあらさをかえるとき】

- ▲ ▶ ボタンを押して、ぬい目のあらさモー
- ドを選びます。(11ページ参照)

初期値(購入時のセット状態)は 1.5 です。

- ※ 0.2~5.0の範囲でかえることができます。 0.2~1.0まで0.1ずつ、1.0から5.0まで0.5 ずつかえることができます。
- ※ 画面の数値は、ぬい目のあらさの目安です。 (単位:ミリメートル)
- ・ ボタンを押すと、表示される数値が大きくなり、ぬい目があらくなります
- マボタンを押すと、表示される数値が小 さくなり、ぬい目が細かくなります。

# ● たち目かがり

# 【ジグザグぬいのたち目かがり】

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 07
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: たち目かがり押さえ C
- (4) ぬい目の幅: 5.0~7.0
- ※ 押さえの画面表示は、基本押さえ A になっていますが、たち目かがりのときは、たち目かがり押さえ C を使用します。

# ⚠ 注意

たち目かがり押さえ C を使用するときは、ぬい 目の幅は 4.5 以下では使用しないでください。 針が針金に当たり、けがの原因となります。

布端のほつれ止めとして広く利用します。 布端をたち目かがり押さえ C のガイドに当てて ぬいます。



ZZZZ



# ● トリコットぬいのたち目かがり

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 08
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: 基本押さえ A

しわになりやすい合成せんいや、伸縮性布地 (ニットなど)のかがりぬいに使います。 ぬいしろを少し余分にとってぬい、余分なとこ

ろをぬい目の近くで切り落とします。

	● ボタンホール
(1) 10	★ ボタンホールの種類
Π	(1) スクエアボタンホール(両止め)
U	普通の布から厚い布まで一般的な使用目的のボ タンホールです
(2) 11	(2) 片ラウンドボタンホール
	普通の布からうすい布に使います。ブラウス、
U	子供服などでよく使われます。
(2) 12	(3) キーホールボタンホール(鳩目穴)
$(3)$ $\Pi$	普通の布から厚い布に使われる一般的なボタン ホールです。
U	大きく厚めのボタンはキーホールボタンホール がよく使われます。
	※ ボタンホールを選ぶと、ボタンホール切りか えレバーが画面に表示されます。 ボタンホールをぬうときには、ボタンホール 切りかえレバーをさげてぬいます。
	※ ボタンホールの長さは、使用するボタンをボ タンホール押さえのボタン受け台にはさみ込 むと自動的に決まります。(32 ページ参照)
	※ ボタンの直径が 1.0 cm ~ 2.5 cm までのボ タンホールができます。
	※ボタンホールは模様が完成するとほつれ止めの止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。(ミシン停止時の針位置設定が下位置停止になっていても針は上の位置で停止します。)
	ボタンホールの注音車項
	<ul> <li>・伸縮性のある布は、伸びないように裏に芯</li> <li>地を貼ってください。</li> </ul>
	• 使用する布の切れ端などで試しぬいをし
	て、正しくぬえることを確認してください。
	(しるし)を付けてください。





```
★ スクエアボタンホール
```

ミシンのセット

- (1) 模様番号: 10
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: ボタンホール押さえ R
- (4) ボタンホール切りかえレバーをさげる
- ボタン受け台をうしろに引き、ボタンをの せてボタン受け台をもどし、ボタンをはさ みます。
- ※ボタンホールの幅は、一般的なボタンの種類 に合わせてあります。厚いボタンなどは、使 用する布の切れ端などに試しぬいをしてくだ さい。試しぬいをしてみて、ボタンがボタン ホールに入りにくい場合は、ボタン受け台と ボタンのあいだにすきまをあけると、その分 大きなボタンホールができます。

 上下停針ボタンで針をあげた状態にします。 押さえホルダーのみぞと押さえのピンを合 わせ、押さえ上げをさげてボタンホール押 さえRをセットします。

 押さえ上げをあげて上糸を押さえの穴から 下に通し、横に引き出して下糸とそろえます。 布を入れ、手ではずみ車を手前にまわし、 布に付けたマークのぬい始めの位置に針を さし、押さえ上げをさげます。



**4.** ボタンホール切りかえレバーを止まるまで いっぱいに引きさげます。

※ ぬい始めに、押さえスライダーとストッパー のあいだにすきまがないことを確認してくだ さい。すきまがあると、ぬい始めの位置ずれ になります。

上糸を横に軽く引いて持ち、ミシンをスタートさせます。
 ぬい始めから数針ぬったあとは、糸から手をはなしてください。

※ ぬい途中に模様番号が // と表示され(2

~3秒間)、ブザーが鳴ると同時にボタンホー ル切りかえレバー表示が点滅したとき: ボタンホール切りかえレバーをさげないで、 ボタンホールを 0.5 cm ぬったときに表示さ れます。ボタンホール切りかえレバーをさげ て、再スタートしてください。



6. ぬい順序

- [1] 下ぬいをし、左側のラインタックをぬいま す。
- [2] 下ぬいをし、かんぬきと右側のラインタッ クをぬいます。
- [3] かんぬきと止めぬいを行って自動的にミシンが停止します。

 ない終わったらボタンホール切りかえレ バーを止まるまでいっぱいに押しあげても どします。

- かんぬきの内側にまち針をわたして、シームリッパーでかがった糸を切らないように切りひらきます。
- ※ キーホールボタンホールは、市販のポンチで 穴を開けてから、シームリッパーで切り開き ます。

### ★ ボタンホール重ねぬい

ボリューム感のあるボタンホールができます。 一度目のボタンホールをぬい終わったら、押さ え上げをさげたままミシンをスタートさせます。 自動的に重ねぬいをします。

※ ボタンホールの重ねぬいで送りがつまるとき は、ぬい目のあらさを大きくしてぬってくだ さい。(35 ページ参照)







★ ぬい目の幅(ボタンホールの幅)をかえる とき

● ボタンで、ぬい目の幅モードを選びます。(11ページ参照)

初期値(購入時のセット状態)は 5.0 です。

- ボタンを押すと数値が大きくなり、ボ
   タンホール全体の幅が広くなります。
- ▼ ボタンを押すと数値が小さくなり、ボ
   タンホール全体の幅がせまくなります。
- ※ 2.5~7.0の範囲で 0.5 ずつかえることができます。

### ★ ぬい目のあらさをかえるとき

● ボタンで、ぬい目のあらさモードを選びます。(11ページ参照)

初期値(購入時のセット状態)は 0.4 です。

- ボタンを押すと数値が大きくなり、ボ
   タンホールのぬい目があらくなります。
- ▼ ボタンを押すと数値が小さくなり、ボ
   タンホールのぬい目が細かくなります。
- ※ 0.3 ~ 0.8 の範囲で 0.1 ずつかえることができます。

### ★ 片ラウンドボタンホール、キーホールボタ ンホールのぬい

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 11、12
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: ボタンホール押さえ R
- (4) ボタンホール切りかえレバーをさげる

ぬい方はスクエアボタンホールと同じです。 (32~34ページ参照)

- ※ 模様 11 のぬい目の幅は 2.5 ~ 5.5 の範囲で 0.5 ずつかえることができます。
- ※ 模様 12 のぬい目の幅は 5.5 ~ 7.0 の範囲で 0.5 ずつかえることができます。





### ● 芯入りボタンホールのぬい

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 10
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: ボタンホール押さえ R
- (4) ボタンホール切りかえレバーをさげる
- 芯糸の中央部を押さえのうしろ側にあるつのにかけ、押さえの下から手前に平行になるように芯糸を引き出し、前側の三つ又にはさみます。
- ※ 芯糸は、たるみのないように強く張ってくだ さい。

- 2. ミシンをスタートさせてぬいます。
- ※ ぬい方はスクエアボタンホールと同じです。 (32~34ページ参照)

- ぬい終わったら芯糸を引いてたるみをなくし、余分な糸を切ります。
- ※ ぬい目の幅は、芯糸の太さに合わせてセット します。
- ※ 穴の開け方は、34ページをごらんください。
- ※ 左右どちらの芯糸も引けない場合は、芯糸の 両側を切ります。





ボタン穴の間かくと同じ値にする

# <u> (</u>注意

必ず針がボタンの左右の穴におりるこ とを確認してください。 ボタンに針が当たると針が折れ、けが の原因となります。



### ● ボタン付け

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 07
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: サテン押さえ F
- (4) ドロップつまみ: さげる位置
- ※ 押さえの画面表示は、基本押さえ A になっていますが、ボタン付けのときは、サテン押さえ F を使用してください。

### 【準備】

- ドロップつまみで送り歯をさげます。
- スピードコントロールつまみの位置を「ゆっくり」 側にして、ぬい速度を遅くします。
- ボタン穴の左右の間かくをはかります。
  - 【●】 ボタンで、ぬい目の幅モードを選び、
  - ▲ ▼ ボタンではかった穴の間かくと同じ値にします。(11ページ参照)

### 【ぬい方】

- - に行うと、ぬい始めに止めぬいが入りません。
- ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前に まわしてボタンの左の穴に針がおりるようにします。 ボタンの左右の穴が真横になるようにして、押さえ 上げをさげます。
- 2. はずみ車を手で手前に数回まわすと、最初に止めぬい を行うために左側の穴だけを数回ぬいます。そのあと 針が右側に移動しますので、針がボタンに当たらない でボタンの右の穴に入ることを確認してください。
- ※ 針がボタンに当たる場合、▲ ▼ ボタンでぬい目の幅を調整します。
- ※ はずみ車を手前にまわし続けると、最初に止めぬい を行うために左側の穴だけを数回ぬいます。
- 3. ミシンをスタートさせ、約 10 針ぬったらミシンを 停止します。
- 4. 針をあげ、押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸 と下糸を 10 cm ~ 20 cm 残して切ります。(糸切 りボタンで切らないでください。)
- ※ ぬい始めに止めぬいが入っているので、ぬい始めの 上糸と下糸はボタンのきわではさみで切り取ります。 (はさみは付属品には含まれていません。)
- 5. ぬい終わりの下糸を引いて上糸を布の裏に引き出し、 上糸と下糸を結んでから切ります。
- ※ ぬい終わったらドロップつまみを送り歯をあげる位置 にもどし、手ではずみ車を手前にまわして、送り歯が あがることを確認してください。(12ページ参照)









### ● ファスナー付け

ミシンのセット

- (1) 模様番号: 00
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: 基本押さえ A

ファスナー押さえ E

# 【ファスナー押さえの付け方】

押さえホルダーのみぞとファスナー押さえのピンを合わせて取り付けます。

- (A): ファスナーのむしの左側をぬうときは、 ファスナー押さえの右側のピンを押さえホル ダーに取り付けます。
- (B): ファスナーのむしの右側をぬうときは、 ファスナー押さえの左側のピンを押さえホル ダーに取り付けます。

### 【準備】

- ファスナーのあき寸法を確かめます。
   あき寸法はファスナー寸法に1 cm プラスした寸法です。
- しつけと地ぬいをします。
   布を中表に合わせて、あき止まりまで地ぬいをします。
   地ぬいの部分は、基本押さえAを使ってぬいます。
   あき部分は、しつけぬいをします。
- ※ しつけは、ほどきやすいよう、ぬい目のあら さを「5.0」、糸調子ダイヤルを「1」にして ぬいます。 しつけが終わったら、ぬい目のあらさおよび 糸調子ダイヤルをもどします。 (糸調子ダイヤルの位置は「オート」)

# 【ぬい】

 ぬいしろを割り、下の布のぬいしろを
 0.3 cm 出して、アイロンで折り目を付け、 折り山をむしのきわに当てます。



を止め、針を布にさします。 押さえ上げをあげてスライダーを向こう側 にずらし、押さえ上げをさげて残りの部分 ※ ぬい終わりに数針、ほつれ止めの返しぬいを 4. ファスナーを閉じ、スライダーを上にたお し、上の布をファスナーの上にかぶせます。 かぶせた布と台布をしつけで止めます。 ※ しつけは、基本押さえ A を使用します。 しつけは、ほどきやすいよう、ぬい目のあら さを [5.0]、糸調子ダイヤルを [1] にして ぬいます。しつけが終わったら、ぬい目のあ らさおよび糸調子ダイヤルをもどします。(糸

注意

- 5 ファスナー押さえの左側のピンを押さえ木 ルダーに取り付けます。 上の布のあき止まりを 0.7 cm ~ 1.0 cm 返 しぬいをしてから、むしのきわを押さえの 端(左側段部)に当て、ファスナーの右側
- 6. ファスナーの上側を約5 cm 残したところ でミシンを止めます。 針をさした状態で、押さえ上げをあげ、【準 備】の手順2.(38ページ参照)でぬったし つけ糸をほどき、スライダーを押さえの向 こう側にずらします。

# 注意

ファスナーをぬうときは、針がファスナー や押さえに当らないように注意してくださ い。針が当たると、けがの原因となります。

7. 押さえ上げをさげて残りの部分をぬいます。 ぬい終わったら手順4. でぬったしつけ糸を







### ● まつりぬい

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 14、15
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: まつりぬい押さえ G
- ※ 模様 15 は、伸縮性のある布をぬうときに使います。

スカートやワンピースなどのすそのまつりがで きます。

※ 生地と同じ色の糸を使用してください。

- 1. 図のように布を折ります。
- ※ 厚い布のときは、布端をかがりぬいしてから 折ります。
- **2.** 押さえのガイドに折り山を合わせてぬいます。

※ 針が折り山から外れないように、また必要以 上に針が折り山にかかりすぎないように、針 位置を調節してください。 (下記【針位置の調節】参照)

- 3. ぬい終わったら布を広げます。
- ※ 左側におりる針が必要以上に折り山にかかり すぎると表に出るぬい目が大きくなり、きれ いに仕上がりません。

### 【針位置の調節】

- 針位置は、 (◀) (▶) ボタンで、ぬい目の幅モー
- ドを選び、下記のように調整します。

(11ページ参照)

- 初期値(購入時のセット状態)は「0.6」です。
- ※表示画面の「0.6」は、押さえのガイドから 左針位置(折り山側の針位置)までの距離の 目安です。(単位:ミリメートル) 14 15
- ※模様うとは、ぬい目の幅は変化せず模様(針

位置)が左右に移動します。

- ・針が折り山にかからない場合、(▲)ボタン を押して針位置を左に移動させます。
- 針が折り山にかかりすぎる場合、
   ボタンを押して針位置を右に移動させます。





● シェルタック

ミシンのセット

- (1) 模様番号: 16
- (2) 糸調子ダイヤル: 6~8
- (3) 押さえ: サテン押さえ F

トリコットなど、うすい布を使用してください。 図のように布を折り、折り目にステッチします。

- 1. 布をバイアスに2つ折りにします。
- 右側の針位置が布の折り山のきわ(外側) になるようにぬいます。
   布をひらき、アイロンで山を片側にたおします。
- ※ 試しぬいをして、シェルタックの山がきれい になるよう糸調子を調節します。
- ※ シェルタックをいくつか並べてぬう場合、最低 1.5 cm あいだをあけてください。

# ● ファゴティング

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 17
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ:サテン押さえ F

2 枚の布のすき間をあけて、つなぎ合わせるこ とができます。

布の端を約 1.5 cm 裏側に折り、アイロンをか けます。

布端と布端の間かくを 0.3 cm  $\sim$  0.4 cm あけ て、下に当て紙をします。

布の表から間かくの中央を中心にしてぬいます。 最後に当て紙を取ります。









### ● アップリケ

ミシンのセット

- (1) 模様番号: 18
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ: サテン押さえ F

アップリケ布をのり付けするか、しつけで止め ます。

針をアップリケ布の外側に落とし、アップリケ 布のふちをぬっていきます。

※ カーブのところや方向転換するところでは、 アップリケ布の外側に針がささった状態でミ シンを止めます。

針を布にさしたまま押さえ上げをあげ、方向 をかえるときれいに仕上がります。

● スカラップ

### ミシンのセット

- (1) 模様番号: 19
- (2) 糸調子ダイヤル: オート
- (3) 押さえ:サテン押さえ F
- 1. 布の表から、布端を約1 cm 残してぬいます。
- ※ 最後の模様をぬっている途中に止めぬいボタ ンを押すと、その模様を完成させたあと、止 めぬいをして自動的に止まります。

2. 糸を切らないように、外側の布を切り落と します。



# ◎ こんなときには

# ● 画面にこんな表示が出た場合

表示	原因	直し方
	<ol> <li>フットコントローラーを接続した状態でス タート / ストップボタンを押したときに表示 が数秒間点滅します。</li> </ol>	スタート/ストップボタンを 使用する場合、フットコン トローラーの接続を外しま す。
<b>しい</b> ジンクインクロック ビング ビング 単様番号 めい目の幅 あらさ	<ol> <li>フットコントローラーが壊れているときに表示されます。(フットコントローラー表示が 点滅します。)</li> </ol>	お買い上げの販売店へご連 絡ください。
	押さえがあがった状態でミシンをスタートさせ たとき、および返しぬいボタンや、糸切りボタ ンを押したときに表示されます。(押さえ表示が 点滅します。)	押さえ上げをさげて再度、 操作を行います。
<b>8</b> 模様番号 ぬい目の幅 あらさ	糸巻き軸を下糸巻き位置にセットしたときに表 示されます。	糸巻き軸を元の位置(左側) にもどすと表示が消えます。
R-1- 5.00.4 機様番号 ぬい目の幅 あらさ	ボタンホール切りかえレバーをさげないでボタ ンホールを少しぬうと表示されます。 (模様番号表示が「bL」表示にかわり、ボタンホー ル切りかえレバー表示が2~3秒点滅します。)	ボタンホール切りかえレ バーをさげて、再スタート させます。
	安全装置の作動によりミシンモーターが緊急停 止したときに表示されます。	緊急停止後 15 秒間ミシンは 動きません。 糸がらみなどがある場合、 電源スイッチを切り、糸を 取り除いてください。
(E1-E7)	ミシンが正しく作動しなかった場合に表示され ます。	電源スイッチを切り、針板 を外し、かまや送り歯、糸 切りメスに糸がからんでい ないか確認します。
模様番号 ぬい目の幅 あらさ		直らない場合には、お買い 上げの販売店へご連絡くだ さい。

# ● ブザー音の種類

ブザー音	内容
ピッ	正しい操作をしたときの受付音です。
ピピピッ	不正な操作をしたときの禁止音です。
ピー	ミシンが正しく作動しなかった場合の警告音です。
ピピピー	ボタンホールぬい完了などの終了音です。

# ● 原因と直し方

調子が悪い場合	原因	直し方
	1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の ところにからみついている。糸調子皿から上糸が外 れている。	19ページ参照
上糸が切れる	<ol> <li>2. 上糸調子が強すぎる。</li> <li>3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。</li> <li>4. 針の付け方がまちがっている。</li> <li>5. ぬい始めに、上糸、下糸を押さえの下にそろえて引いていない。</li> </ol>	14 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 23 ページ参照
	6. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 7. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。	布を向こう側に出す 15ページ参照
下糸が切れる	<ol> <li>1. 下糸の通し方がまちがっている。</li> <li>2. 内がまの中にごみがたまっている。</li> <li>3. ボビンにきずがあり、回転がなめらかでない。</li> <li>4. 下糸の巻き方がゆるい。</li> </ol>	18 ページ参照 44 ページ参照 ボビンを交換する 17 ページ参照
針が折れる	<ol> <li>針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>針止めねじのしめ付けがゆるんでいる。</li> <li>ぬい終わったとき布を手前に引いている。</li> <li>布に対して針が細すぎる。</li> <li>模様に合った押さえを使用していない。</li> </ol>	15 ページ参照 15 ページ参照 布を向こう側に出す 15 ページ参照 指定の押さえに交換す る
ぬい目がとぶ	<ol> <li>針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> <li>布に対して針と糸が合っていない。</li> <li>伸縮性のある布や目とびのしやすい布地などのとき、 ジャノメブルー針(オプション)を使っていない。</li> <li>上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>品質の悪い針を使用している。</li> </ol>	15 ページ参照 15 ページ参照 15 ページ参照 19 ページ参照 針を交換する
ぬい目がしわにな る	<ol> <li>1. 上糸調子が合っていない。</li> <li>2. 上糸、下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要 以外の部分にからみついたりしている。</li> <li>3. 布に対して針が太すぎる。</li> <li>4. ぬい目のあらさが布に対してあらすぎる。</li> <li>5. うすい布をぬうとき、芯地を使っていない。</li> </ol>	<ol> <li>14 ページ参照</li> <li>18、19 ページ参照</li> <li>15 ページ参照</li> <li>ぬい目を細かくする</li> <li>芯地を貼る</li> </ol>
布送りが うまくいかない	1. 送り歯に糸くずがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。 3. 送り歯があがっていない。	44 ページ参照 ぬい目をあらくする 12 ページ参照
ぬい目に 輪ができる	1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。	14 ページ参照 15 ページ参照
ぬい目に下糸が 出る	<ol> <li>ボビンのセットがまちがっている。</li> <li>糸こまのセットがまちがっている。</li> <li>上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>上糸調子が強すぎる。</li> </ol>	18 ページ参照 16 ページ参照 19 ページ参照 14 ページ参照
ぬい始めの 糸がらみ	<ol> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>2. ぬい始めに上糸、下糸を押さえの下にそろえていない。</li> </ol>	19 ページ参照 23 ページ参照
うすい布、伸縮性 の布が食い込む	1. 布に対して針と糸が合っていない。 2. 左針位置でぬっていない。	15 ページ参照 左針位置でぬう

調子が悪い場合	原因	直し方
	1. 上糸のかけ方がまちがっている。	19ページ参照
布の裏で糸がからま る	〔手順 2. の図〕	<ul> <li>【からまっている糸の取り方】</li> <li>1. 電源スイッチを切る。</li> <li>2. 押さえ上げと針をあげ、 ハサミで布の裏の糸を 切る。</li> <li>3. 針板を外す。 (44ページ参照)</li> <li>4. ボビン、内がまを外し、 からまっている糸を切 る。(16、44ページ参照)</li> <li>5. ボビン、内がま、針板 を取り付ける。 (18、44ページ参照)</li> <li>6. 上糸をかけ直す。 (19ページ参照)</li> </ul>
ボタンホールが うまくぬえない	<ol> <li>ボタンホール切りかえレバーをさげていない。</li> <li>伸縮性のある布のとき、伸びない芯地を使っていない。</li> <li>布に対してぬい目のあらさが合っていない。</li> </ol>	33 ページ参照 伸びない芯地を貼る 35 ページ参照
糸切りボタンで うまく糸が切れない	1. 使用している糸が太すぎる。 2. 糸がからまっている。	24 ページ参照 44 ページ参照
上糸が抜ける	<ol> <li>1. 上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>2. ぬい始めに布に針をさしていない。</li> </ol>	19 ページ参照 23 ページ参照
ぬい終わりに下糸が 二重に出てくる	1. 針が上まであがっていない。	上下停針ボタンを押して 針をあげる
かまに糸がからまる	<ol> <li>上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>かまにキズがある。</li> <li>内がまの入れ方がまちがっている。</li> </ol>	19 ページ参照 かまを交換する 44 ページ参照
音がして 糸がからまる	1. 天びんの糸穴に糸が入っていない。 2. 上糸のかけ方がまちがっている。	19 ページ参照 19 ページ参照
フットコントロー ラーをふみ込んでも 動かない	<ol> <li>画面表示にフットコントローラーの表示が出な いうちにフットコントローラーをふんだ。</li> <li>うううろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろうろ</li></ol>	フットコントローラーの表 示が出たあとにフットコン トローラーをふむ 7 ページ参照
糸通しができない	<ol> <li>1. 針と天びんが上にあがっていない。</li> <li>2. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。</li> </ol>	20 ページ参照 15 ページ参照
音が高い	<ol> <li>かまの部分に糸くずが巻きこまれている。</li> <li>送り歯にごみがたまっている。</li> <li>電源投入時、制御モーターからわずかな共鳴音が出る。</li> </ol>	44 ページ参照 44 ページ参照 異常ではありません

調子が悪い場合	原因	直し方
ミシンが動かない	<ol> <li>1. 電源のつなぎ方がまちがっている。</li> <li>2. かまに、糸やごみがたまっている。</li> <li>3. 糸巻軸が、下糸を巻いたあと、元にもどっていない。(糸巻状態になっている)</li> <li>4. フットコントローラーを接続したままでスタート /ストップボタンを押している。</li> <li>5. 天びん内部に糸がからんでいる。</li> <li>糸がらみ</li> </ol>	7ページ参照 44ページ参照 17ページ参照 フットコントローラーを 外す 49ページ「●面板の外 し方・付け方」を参照し、 からんでいる糸を取り除 く
模様がくずれる	1. 模様が正しく調整されていない。	49 ページ「●模様の形 の整え方」を参照
模様がきれいにぬえ ない	<ol> <li>ボビンのセットがまちがっている。 (ボビンの入れる方向がちがう、または下糸が内が まのばねに入っていない。)</li> <li>糸こまのセットがまちがっている。</li> <li>上糸のかけ方がまちがっている。</li> <li>上糸調子が強すぎる。</li> </ol>	18 ページ参照 16 ページ参照 19 ページ参照 14 ページ参照
ボビンに下糸がうま く巻けない	<ol> <li>1. 下糸巻きのかけ方がまちがっている。</li> <li>2. ボビンの上、または下に巻きが片寄っている。</li> <li>〔上に片寄っている〕 (下に片寄っている〕</li> <li>↓</li> <li>調整ねじを時計回り 調整ねじを反時計回り (こまわす (こまわす)</li> <li>調整ねじ(糸巻き糸案内)</li> </ol>	17ページ参照 調整ねじをまわす 注意: 調整ねじをまわす範囲 は、1回転までにしてく ださい。部品が外れます。

- ※ 静かな部屋で使うと「ウィーン」という小さな音がする場合があります。内部の制御モーターか ら発生しているもので、ぬい作業上はとくに問題はありません。
- ※ 長時間使うと画面付近の温度が少し高くなります。内部の制御部の発熱によるもので、ぬい作業 上はとくに問題はありません。
- ※ 外観の細い線のように見える部分は、樹脂を形成するときに発生するウェルドラインと呼ばれる ものです。場所によっては目立つ場合もありますが、強度上とくに問題はありません。





● 面板の外し方・付け方

### 【外し方】

電源スイッチを切ります。

- 1. プラスドライバーでしめねじを外します。
- ※ プラスドライバーは付属されていません。
- 2. 面板を外します。
- 3. 面板の下側を手前に引き、左にスライドさせ、フック1を外したあと、フック2を外します。
- ※ 面板を外し、天びんにからまっている糸を取 ります。

# 【付け方】

- 1. 面板を取り付けます。
  - フック2を取り付け、面板の下側を手前に 引き、右にスライドさせてフック 1 を取り 付けます。
- 2. しめねじで固定します。
- ※ ぬうときは、必ず面板を取り付けてください。

# ● 模様の形の整え方

布の種類や厚さなど、ぬいの条件によって模様の形がくずれる場合があります。

ぬうときと同じ条件で試しぬいをし、模様の形 がくずれる場合は補助テーブルを外し、送り調 節ねじで調節します。

# 17 【模様の形の整え方】(模様 への例)

- 図1のように模様がつまっているときは、送り調節ねじを「+」方向にまわします。
- 図2のように模様が伸びているときは、
   送り調節ねじを「-」方向にまわします。

🜲 - メモ - 🌲

# 🐥 - メモ - 🐥



回湖松回



ジャノメ公式 Instagram



ジャノメ公式

YouTube チャンネル

ミシンの疑問やジャノメ最新情報はこちらからご確認できます。

	仕様	
使用電圧	100 V 50/60 Hz	
消費電力	35 W	
外形寸法	幅 406 mm × 奥行 184 mm × 高さ 298 mm	
質 量	5.6 kg(本体)	
使用針	用 針 家庭用 HA × 1	
「見互めい法府」	毎分 700 針	
取同040 1 还反	フットコントローラー使用時 分820針(直線模様)	

仕様および外観は改良 のため予告なく変更す ることがありますので ご了承ください。

### 修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますの でお申し付けください。

### 修理用部品の保有期間

● 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後8年間を基準として保有 し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

### 無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとでも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。 ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
  - 1)保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
  - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
  - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
  - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障 または損傷したとき。
  - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げの販売店が別に定める 技術料の合計になります。

### お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申しつけください。 お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

### 株式会社ジャノメ

- 住所 〒 193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
- 電話 お客様相談室 0120 026 557(フリーダイヤル)
  - 042 661 2600

受付 平日 9:00~12:00、13:00~17:00 (土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ https://www.janome.co.jp

<u>問合せフォーム</u>をご利用ください。



808-851-448